

一般国道４０３号道路拡幅整備に係る
計画段階環境配慮計画書に対する主な関係課意見

課名	頁・該当箇所	意見等
環境政策課	4-6 表4.1.3	<p>【温室効果ガス等】 道路計画を立案する場合、事業実施前後の需要（交通量）予測に基づき検討を行うのが通例と考えるが、配慮書の表4.1.3の非選定理由の3段目で「交通量の変化が見積れない」と記載されている理由を教えてください。</p> <hr/> <p>方法書以降の手続きにおいて、合理性のある需要予測（交通量の変化予測）に基づき、事業実施前後の自動車の走行による温室効果ガスの排出量について明らかにされたい。</p>
	—	<p>【動物・植物・生態系】 当該道路と直交する道路として「新潟中央環状道路」の整備計画があり、平成20年～23にかけて環境アセスメントが既に実施されている。今回の事業における動物・植物・生態系に関する環境影響評価において有益な情報が記載されていると考えられるため是非参考とされたい。</p>
環境対策課	4-10～4-14 表4.3.1 図4.3.1	事業実施想定区域内には市街地・集落等が分布していることから、工事の実施や供用後の自動車の通行に伴い大気質への影響が懸念されるため、その影響に配慮した事業計画とするとともに、適切な調査、予測及び評価の手法を検討すること。
	4-15～4-24 表4.3.2、 4.3.3 図4.3.2、 4.3.3	事業実施想定区域内には市街地・集落等が分布していることから、工事の実施や供用後の自動車の通行に伴う騒音・振動の影響が懸念されるため、その影響に配慮した事業計画とするとともに、適切な調査、予測及び評価の手法を検討すること。